

]今今 年年夏

に年夏 ねなかした。 ななから とよのさ 見っ花を 入と火吹 つ変大き てわ会飛 いっをば また開せ し花催! た。火しま

登し 場た





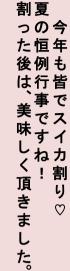
























□み総 ん選第 な挙 1 」のの回 □投結ふ ナ票果れ ににはあ ょ い ij 2 の 0 渚 も文 の化 候 祭

補キ

のャ 中ッ

かチ

らフ

負け る な ! 距 離 が遠 選 ば れ心 まは 近く』













文 化 向 け て

台各加そり今 発フ型こま年 表口文でしも にア化今た新 型 口口口 ナ の 影 響により、 納 涼 祭 は 中 止

向の祭年

け利をは

や様す用

者

さん

ŧ

め

て用開

歌者催

踊がる

岬りの練習をしてい-か一丸となり、作品制のことにしました!

制 ま

てい

ず。